

## 科目選択制

### 自分の道は自分で決める 科目選択の意義

21世紀はグローバル化・ネット化が進み国境やジャンルを越えて飛び交う様々な情報を主体的に整理し考えを組み立ててゆく能力が必要な時代です。

この混沌とした時代の中で自分の生きる道を選び取るためには点数化できる学力だけではなく、状況を見極める判断力、事態を切り拓く行動力・決断力、そして何より問題意識をもって物事に対処しようとする主体性がなくてはなりません。

本校では高校の課程において「自分の進路の実現に必要な科目を自分で選ぶ」という、アイデンティティの確立に向けての第一歩を促すことで、将来必要とされる判断力・行動力・決断力・主体性を養うことが出来ると考えています。

### 選ぶ科目は92科目 選択へのアドバイス

高校1年生の6月には2年生での選択科目を選ぶための進路講話が実施されます。その後、教員との面談を重ねて1年生の11月から12月に2年生の選択科目を最終決定します。この面談にはクラス担任はもちろんのこと進路指導部と教科担当者もかかわります。数々の面談を通して何度も自分の将来を考え直して未来を方向づけてゆきます。

選択科目は進路に応じて選ぶことができます。例えば英語は高校2、3年合わせて13科目。基礎を固めたい生徒向けのBASIC ENGLISHから海外大学の授業受講準備のACADEMIC ENGLISHに至るまで特色ある授業が幅広く用意されています。生徒は自分の進路や適性に合わせて「自分の時間割」を作るのです。

### 夢の実現 自己実現にむけて

このように高校1、2年生で、自分の進路が考え抜かれた末に選択科目を自己決定するというプロセスを経ることで授業への真剣さが増し、学力向上が果たされています。

今年の卒業生は、在籍者の81%153名が大学に進学。進学先は68学部112学科に及びます。これら多彩な学科は文系理系の枠に収まることはありません。進学分野の多様性は在学中に自己の夢の実現に向かい続けた証に他ならないのです。

富士見丘の科目選択制度は、生徒の夢の実現をしっかりと支えます。